

平成31年4月 東京地区百貨店売上高概況

令和元年5月21日

I. 概況

1. 売上高総額	1,261億円余
2. 前年同月比	-0.8% (2か月ぶりマイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-0.9%(90.9%) : 非店頭0.0%(9.1%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成31年3月対比±0店)
5. 総店舗面積	835,205㎡ (前年同月比:-0.7%)
6. 総従業員数	17,367人 (前年同月比:-4.5%)
7. 3か月移動平均値	9-11月 1.0%、10-12月 0.3%、11-1月 -1.2%、 12-2月 -1.5%、1-3月 -1.0%、2-4月 -0.2%

[参考] 平成30年4月の売上高増減率は1.9%

【特徴】

- (1) 4月は、改元祝賀ムードの高まりから、関連企画やファミリーイベント、物産展等各社施策が集客に寄与。入店客数は2.0%増と18か月連続でプラスした。しかし、好天に恵まれた昨年と比べ、今年は低温の影響を大きく受けたことから春夏物商材が苦戦。中旬以降盛り返したものの及ばず、売上(0.8%減)は僅かに前年割れとなった。
- (2) 食料品(3.7%増)は前月より3.3ポイントアップし、2か月連続で前年をクリアした。人気の高い食品催事の他、改元関連企画が盛況で、菓子、惣菜、その他食料品でプラスした。「平成」「令和」の元号の入った弁当やスイーツ、平成最後を記念する様々な集い需要から和洋中惣菜も人気。花見が例年より長く続いたことで関連商材も動いた。また、インバウンドと高額品は引き続き活況で、化粧品や絵画、時計、宝飾が好調推移。雑貨(3.0%増)は3か月連続でプラスした。
- (3) 一方、天候与件により衣料品(5.2%減/6か月連続)と身のまわり品(0.5%減/2か月ぶり)は前年に届かなかった。コートやブルゾン、ワンピース、スカート、ハンドバッグ、スニーカーなどは動いたものの、スーツ、シャツ、ブラウス、パンプス、サンダルは動きは鈍かった。
- (4) GW前半は、改元祝賀に合わせた様々なイベント企画や商材の投入から盛り上がりを見せ好調な滑りだし。福袋や元号を使用した限定商品・記念品は好評で、期間中の売上は堅調であった。
- (5) 5月中間段階の商況は、2.3%減(5/15)で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比 ±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
①増加した: 6店、②変化なし: 9店、③減少した: 4店
- (3) 4月歳時記(春物商戦、GW)の売上 (同上/有効回答数13店舗)
①増加した: 1店、②変化なし: 6店、③減少した: 6店

東京地区百貨店 売上高速報 2019年4月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	126,171,884	100.0	-0.8
紳士服・洋品	10,566,575	8.4	-4.3
婦人服・洋品	21,805,051	17.3	-5.4
子供服・洋品	3,147,644	2.5	-1.0
その他衣料品	1,957,048	1.6	-13.6
衣 料 品	37,476,318	29.7	-5.2
身のまわり品	18,884,984	15.0	-0.5
化粧品	14,860,385	11.8	3.7
美術・宝飾・貴金属	9,561,587	7.6	9.3
その他雑貨	5,390,813	4.3	-7.9
雑 貨	29,812,785	23.6	3.0
家 具	1,405,469	1.1	2.4
家 電	676,972	0.5	-0.6
その他家庭用品	3,620,389	2.9	-3.3
家 庭 用 品	5,702,830	4.5	-1.6
生 鮮 食 品	3,836,684	3.0	-2.3
菓 子	7,467,866	5.9	7.9
惣 菜	6,179,206	4.9	4.4
その他食料品	8,616,083	6.8	2.6
食 料 品	26,099,839	20.7	3.7
食 堂 喫 茶	2,723,350	2.2	-8.1
サ ー ビ ス	2,126,296	1.7	-13.6
そ の 他	3,345,482	2.7	-0.4

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商品券	2,121,359 千円	-4.8
従業員数	17,367 人	-4.5
店舗面積	835,205 m ²	-0.7
営業日数	30.0 日	前年 30.0 日

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が3か月連続、食料品が2か月連続のプラスとなった。また、家庭用品が8か月連続、衣料品が6か月連続、身のまわり品が2か月ぶりのマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が49か月連続、菓子が8か月連続、美術・宝飾・貴金属が3か月連続、惣菜が2か月連続、家具が2か月ぶり、その他食料品が4か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-0.8	-	2か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-4.3	-0.4	2か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-5.4	-1.0	2か月連続マイナス
子供服・洋品	-1.0	-0.0	7か月連続マイナス
その他衣料品	-13.6	-0.2	2か月連続マイナス
衣料品	-5.2	-1.6	6か月連続マイナス
身のまわり品	-0.5	-0.1	2か月ぶりマイナス
化粧品	3.7	0.4	49か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	9.3	0.6	3か月連続プラス*
その他雑貨	-7.9	-0.4	3か月連続マイナス*
雑貨	3.0	0.7	3か月連続プラス
家具	2.4	0.0	2か月ぶりプラス
家電	-0.6	-0.0	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-3.3	-0.1	10か月連続マイナス
家庭用品	-1.6	-0.1	8か月連続マイナス
生鮮食品	-2.3	-0.1	7か月連続マイナス*
菓子	7.9	0.4	8か月連続プラス*
惣菜	4.4	0.2	2か月連続プラス*
その他食料品	2.6	0.2	4か月ぶりプラス*
食料品	3.7	0.7	2か月連続プラス
食堂喫茶	-8.1	-0.2	8か月連続マイナス
サービス	-13.6	-0.3	2か月連続マイナス
その他	-0.4	-0.0	3か月連続マイナス
商品券	-4.8	-0.1	7か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>